

氏名	服部真理子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	公衆衛生看護学 地域看護学				
学位	修士(保健学)				
学歴	1988年日本赤十字中央短期大学看護学科、1996年聖路加看護大学看護学部(普通)(3年次編入学)、1998年東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程				
経歴	2001年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科助手、2004年東京女子医科大学看護学部講師、2015年武蔵野大学看護学部看護学科准教授、2019年埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科准教授				
所属学会(役職)	日本公衆衛生学会、日本健康教育学会、日本看護科学学会、日本在宅ケア学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本地域看護学会、日本行動医学会、日本公衆衛生看護研究会、東京女子医科大学看護学会、日本在宅看護学会、日本看護学教育学会、日本公衆衛生看護学会、日本衛生学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	看護学生のヘルスリテラシーの実態とストレス対処能力との関連	共著	あり	子ども・教職研究、3、P11-17	石崎順子、大久保菜穂子、高木悦子、伊草綾香、関美雪、服部真理子、柴田亜希	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	4か月までの乳児を持つ父親の自己効力感と関連する要因についての検討	共同	第66回日本小児保健協会学術集会、東京	○関美雪、服部真理子、佐藤玲子、上原美子、伊草綾香	2019.6	
2	4か月までの乳児を持つ父親のストレス対処能力と関連する要因についての検討	共同	第78回日本公衆衛生学会総会、高知	○関美雪、佐藤玲子、上原美子、石崎順子、柴田亜希、伊草綾香、服部真理子	2019.10	
3	NDBオープンデータ及びKDBデータの研究利用の現状	共同	第90回日本衛生学会学術総会、盛岡(紙上发表)	○服部真理子、関美雪、柴田亜希、石崎順子	2020.3	
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者(発表者は○印)	発表等年月	
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	埼玉県立大学奨励研究		4年制大学の学士課程における選択制保健師課程のカリキュラムにおいて保健師資格を取得した新任期の保健師が抱える困難と対処、今後に期待する支援について	研究代表者	2019.6-2020.1	
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究(C)		子ども虐待予防に向けて父親のコンピテンシーに着目した育児支援プログラムの開発	研究分担者	2017.4-2020.3	
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)		
1	公衆衛生看護学概論		2	成人期のヘルスプロモーションについて、健康課題と施策や取り組み、生活習慣病対策として健康行動に関するモデルやそれを活用した健康教育、特定健診・特定保健指導の取り組みを取り上げ、成人期の健康づくりについて学生の理解を深めた。		
2	公衆衛生看護学展開論 I		8	精神保健を担当、法的根拠から施策、現在の精神保健の課題や保健師活動の実際について、ゲストスピーカーの講義や事例を引用し、公衆衛生看護における精神保健活動の学生の理解を深めた。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護技術Ⅱ	○	8	学生は公衆衛生看護学実習で抽出した健康課題をもとに、健康教育の企画、実施にグループで取り組んだ。実習での健康課題と健康教育を結びつけることで地域の課題に取り組むPDCAサイクルについて学びを深めることができた。
2	地域診断論	○	16	現場で地域診断に関わったゲストスピーカーの講義と教員による理論の講義を行ったうえで、グループごとに関心のある市町村について地域診断に取り組んだ。グループごとに地域を選んだことでその特性を踏まえた健康課題を抽出、特性を踏まえた解決策も検討することができた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	公衆衛生看護学実習		2019.6	行政・学校・産業における実習の経験をグループで発表・討議することで公衆衛生看護活動についての理解を深めるようカンファレンスで関わった。
2	総合実習		2019.7	行政・桶川市の実習学生を担当、健康教育の準備・実施の指導、公衆衛生看護活動についての理解を深めるよう支援、学内発表会において学生が学びを発表、他の学生と学びを共有できるように関わった。
3	在宅看護学実習		2019.10~2019.12	訪問看護ステーション・地域包括支援センターを担当、実習指導者と調整し学生の学習環境を整えた。実習中は学生の学びの確認・指導、カンファレンスで学生が学びを指導者に発表し、在宅看護の役割について学びを深めるように支援した。
4	IPW実習		2019.8~2019.10	埼玉メディカルセンターを担当、実習指導者と調整を行い学生の学習環境を整えた。専門の異なる学生達が知識を共有し自主的に取り組めるように支援、発表会において学びを発表意見交換ができるように支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	該当なし		主指導	名 副指導
2			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員)
3			主指導(指導教員)	名 副指導(指導補助教員)
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
2				
3				
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	地域貢献活動	埼玉県春日部保健所	学生訪問ボランティア活動支援	2019.6~2020.3
2	地域貢献活動	保健師卒業生	保健師卒業生の会の活動支援	2019.6~2020.3
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	入試実施部会委員		2019.6~2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			

7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			